

「地域で創り、楽しみ、支える文化クラブ活動の未来」 ～持続可能な活動のための“風土”を耕す～

国においては、学校部活動の地域クラブ活動への移行について、令和5年度から7年度までを「改革推進期間」として位置づけ、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すこととし、全国の自治体を対象とした実証事業を継続実施しています。

本研修では、令和3年度から実証事業等に取り組んでいる秋田県大館市の吹奏楽分野における取組について、学校、地域クラブ、吹奏楽連盟といった複数の立場から精力的に取組を推進してこられた山本多鶴子氏を講師に迎え、持続可能な活動に必要な地域人材の育成（意識の醸成）、“風土を耕すこと”などについて参加者の皆様と一緒に考えていきます。

「部活動の地域移行」という地域の子どもたちに関係する事例を通して、文化芸術そのものの振興・文化芸術を生かした地域づくりなどに取り組む人材育成等について考えていきます。

日 時

令和7年5月27日（火）

13時から15時30分頃まで（予定）

会 場

岩手教育会館 カンファレンスルーム200

（岩手県盛岡市大通一丁目1番16号）

定 員

会場50名程度

（オンライン配信あり）

申 込

申込書により5月16日（金）までにメール、FAX又は郵送にて申込

講 師

ヤマモト タツコ
山本 多鶴子 氏

【プロフィール】

秋田県大館市の小学校教員として音楽教育に携わる。平成17年から秋田県教育庁で指導主事、平成23年から大館市教育委員会において教育研究所長、学校教育課長、教育監など要職を経て定年退職。

現在、大館地区吹奏楽連盟副会長として文化部活動の地域展開支援部事務局・コーディネーターを勤める。大館マーチングバンドTEDAOLE・大館ジュニアバンドの代表、教育研究所 架け橋コーディネーター。小学校から中学校までは、岩手県西和賀町（湯田町）、遠野市で過ごす。実父は八幡平市（安代町）の出身。

県内
活動報告

くまさん音楽隊 隊長 イワマ ヒロノブ 氏

【概 要】

令和5年5月に岩手大学の学生で設立した吹奏楽の団体。現在は小学生・中学生・高校生・大学生・専門学生・社会人の40名で活動を行っている。吹奏楽を身近に感じ、より多くの子どもたちに楽器と触れ合いながら音楽をする喜びを味わってほしいという思いのもと、様々なことを企画しながら活動中。

令和5年度から、楽器体験、練習、演奏会から成る「みんなで楽しむ吹奏楽プロジェクト」を実施（R5：盛岡地域、R6：沿岸地域）しており、今年度は県北地域で活動する予定。当日は、これまでの活動や今後の展開について報告。 ※活動報告は、上記時間内で行います。

